

平成30年度第1回花巻市文化財保護審議会 会議録

1 開催日時

平成30年6月14日（木） 午後3時～午後4時30分

2 開催場所

花巻市石鳥谷総合支所3階 3-2・3-3会議室

3 出席者

(1) 委員 12名

菊池邦雄委員、小野義春委員、大森鉄雄委員、木村清且委員、阿部茂巳委員、高橋進委員、照井一明委員、中村良幸委員、中嶋奈津子委員、大原皓二委員、深澤あかね委員、竹原明秀委員

(2) 事務局 7名

佐藤勝教育長、布臺一郎教育部長、文化財課 平野克則課長、村田豊隆課長補佐、大内典子主任主査兼文化財係長、佐藤幸泰埋蔵文化財係長、酒井宗孝主任専門員

4 内容

(1) 委嘱状交付

(2) 会長及び副会長の選任

(3) 協議

ア 平成30年度花巻市文化財関係事業計画について

イ 市指定史跡の現状変更許可申請に係る意見について

5 議事録

〔委嘱状交付、職員紹介〕

(1) 開会（進行：平野課長）

〔審議会成立報告（委員全員出席）〕

(2) 挨拶

（佐藤教育長） 本日大変お忙しい中御出席いただきありがとうございます。また先生方には日頃より様々なお立場から細かい御指導をいただいておりますこと、本当に感謝申し上げます。そしてこの度、12名の委員の皆様には委員を御承認いただきまして、大変心強く思っている次第です。12名の先生方、そして、新しくお願いいたしました、竹原先生、どうぞよろしくお願いたします。

4月に県教育委員会より県の無形民俗文化財として、民俗芸能、早池峰

岳流浮田神楽が指定を受けました。17年ぶりの指定、これで県の指定無形民俗文化財の民俗芸能は9団体ということになり、過日指定書を交付させていただきました。代表の方には大変喜んでいただくと同時に、一層の伝承修練に励む、という大変力強い言葉をいただきまして、本当に嬉しく思います。

さて、本日は、第1回目の審議会でございますが、本日は会長、副会長の御選任、それから、協議事項として本年度の事業計画と、現在市の指定文化財となっている花巻城本丸の本年度調査を進めるにあたっての現状変更等許可申請に関する案件について、という二つの御提案をさせていただきたいと思います。

御案内のとおり、文化財に関わる事業は大変広範であります。先生方の御指導をいただきまして、着実に進めて参りたいと思いますので、ぜひ忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

(3) 会長及び副会長の選任

指名推薦の方法により、会長に菊池邦雄委員、副会長に木村清且委員を選任

〔会長挨拶（菊池会長）〕

皆様の御指導、御支援をいただきながら2年間務めさせていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(4) 協議（議長 菊池会長）

ア 平成30年度花巻市文化財関係事業計画について

(菊池会長) 平成30年度花巻市文化財関係事業計画について、事務局の方から願います。

〔平野課長、大内係長及び佐藤係長から資料No.1-1、村田課長補佐から資料No.1-2、1-3を説明〕

〔質疑〕

(菊池会長) 説明が終わりましたので、質疑をお受けしたいと思います。どなたか御質問、御意見はございませんか？

(阿部委員) 2ページの民俗芸能の伝承支援ということで、昨年度こういう（民俗芸能団体状況調査報告）大変貴重なデータをいただいたのですが、いただいただけで終わりでしょうか。（調査報告の）最後の方には市への要望とかがある訳ですけども、それらに対して、あるいは我々がこの場でどういふふうに民俗芸能に支援しようとするかとか、そういうことは話し合いの機会を持たないものなのでしょうか。

例えば調査回収率が78パーセントだということは、22パーセントは活動していないということと捉えて構わないだろうと思います。そうすると、円グラフの中（調査報告3「団体の活動状況」）に、ほとんど活動していな

い団体（中断中）というのが14団体あります。78パーセントの回答率で無回答は活動していないと合わせると、38団体（廃絶含む）が活動していないこととなります。106団体のうち38団体がほとんど活動していない、驚くべき数字となります。そういう中で、ただ私たちに（調査報告が）配布されただけで済むものでしょうか。もう少し話し合いとかをしたり、あるいは民俗の専門の委員さんがおられますので、そういう方々の御意見を聞いたり、今後の活動をどうしたらいいか、そういうことをもっと考えていただきたいなと思います。

（平野課長） 回答にはならないと思いますが、78パーセントという回収率の関係ですけれども、実際、回答が返ってこなかった団体は確かにその通りあります。返ってこない団体であっても実際にしっかり活動している団体が相当数ありますので、イコールということではないということ・・。

（阿部委員） そうであればとても素晴らしいですが、私はそうは思わない。

（平野課長） 実際、よく神楽公演等をしている団体からも数団体返ってきていませんので、単なる提出漏れなのかということも考えられます。アンケートの活用方法ですけれども、結果につきましては委員の皆様にもお知らせしましたし、アンケートをお願いした団体全てにもバックしております。皆様がどういうことを考えているとか、そういった部分も感じ取ることができているのではないかと考えています。あとは、金銭的な支援を求めている団体等もたくさんあります。そういった団体については、実は団体を対象としてのアンケートと一緒に、コミュニティ会議にもアンケートしてございます。そのコミュニティ会議の中でどのような支援をしているか、それは金銭的な支援とか、あるいは発表の場を設けているとか、そういった部分でのアンケートをしてございます。それについても、コミュニティ会議にその結果をバックしておりますし、多くの団体では金銭的な支援を求めていますよということで、コミュニティ会議の方でも、現在そういった支援をしている団体等が、たくさんございますけれども、あらためて教育委員会からもお知らせをしてございます。

話し合い等アンケート結果の今後の利用という部分ですけれども、これは確かに今日この場でアンケートの中身を一つ一つ説明すれば良かった訳ですけれども、それについては欠けてしまい申し訳なく思っています。

今日突然という話はございませんけれども、可能であれば今日のこの会議の場で御意見等いただいて、それを政策に反映できるものがあればそれを取り入れていきたいという思いもございまして、ぜひこの会議の場で御意見等いただければよろしいのかなと思います。

（菊池会長） そのほかございませんか？

（阿部委員） これは文化財調査報告書として発表する最高のテーマじゃないですか。どなたかおやりになったらどうですか。

(菊池会長) 民俗関係の委員さん、何かございませんか？

(中嶋委員) アンケートの内容、状況をということですけども、今もいろんな芸能、花巻市外も回っておりますけれども、継続できているというのが、どういう状況で継続できているかというのがひとつの問題になるのではないかと思います。例えば神楽ですと、今の世の中でするので担い手の方が少なくなっている訳ですから、例えば権現舞を何とかやれている状況で継続している、という団体の方がむしろ多いのではないかなと思います。

あるいは、ある程度決まった人数が必要な幕神楽を含めて継続できているという場合と、権現様をまわすのが精一杯で、少人数で例祭の時だけかろうじてなんとか年に1・2回公演できている状況でも継続できているというような形で、当然そういうことだと、笛の方あるいは太鼓の方が欠けてしまうことで、自然に活動できなくなっていくということもございます。

ですから、アンケートの中身からそういったところが見えるような内容のものですと、民俗芸能維持・保存という部分を考える上では重要なのではないかと感じます。

(菊池会長) そのほかございませんか？

(竹原委員) 初めてなので要領がつかめないのですが、3ページのところで熊谷家の樹木伐採ということが先ほど説明がありましたが、多分樹木は指定文化財にはなっていないのでしょうか、(指定は)建物だけなのか。

(大内係長) 熊谷家の場合は建物だけになっておりまして、樹木は指定になっておりません。

(竹原委員) 樹木を、草刈りを含めて「環境整備」ということ(用語)がたくさん出てきますが、あまり言葉として整理されていないなという気がします。どういうところまでを環境整備でやれるかということをも1回整理していただいて、伐採と枝打ちとかを含めた整理をしていただきたい。全て切るという書き方としていけないと思うので、伐採や枝下し、それらを合わせれば、「伐採等」という言葉で言いやすいかなと思います。

最初の花輪堤の方も、樹木伐採と書いてありますが、枝下しとかもうちょっと違う言い方をすると、樹木整理というような言葉の・・・樹木整理は全部なくなってしまう感じがして、あまり好きな言葉ではないですけども・・・、環境整備が建物の方にも様々出ていて、どの辺までやるのか、少し言葉の整理をしていただくとわかりやすいかなと思います。

あと、私盛岡市の文化財保護審議会委員もやっていますけれども、その時に、「文化週間」というのがありましたかね。その時に有料施設の公開とかをやっていて、花巻で有料施設があるのかどうかわかりませんが、全国的なそういう週間みたいなので、うまくのるような格好で、もう少し広めることもやられてもいいのかなというふうに思います。盛岡で4か所とか5か所、手紙館とか発電所とか普段見せないところを公開したりして

いる。そういうことを考えてもいいのかなと。

(菊池会長) 担当者の方、よろしいでしょうか。

(平野課長) 検討してまいります。あと、市所有の文化財の建物、例えば旧小原家住宅、熊谷家等たくさんありますが、それらの利用は低調です。多くの方に見ていただき、理解を得るといふこともありますので、先日、市の内部の各課にイベントや展示会等にぜひ活用してほしいと文書を出しております。また、特に利用するような課につきましては、今後個別にお願いして、文化財を市民が親しめるような状態ということを考えてまいります。

(菊池会長) よろしいですか。そのほかございませんか？

(中村委員) 市内を歩いていますと、至る所に説明板がたくさん建っていますが、ほとんどがコミュニティで建てています。文化財のあるところにいっぱい建てっていますが、多分文化財課では把握していない説明板ですよ。この間も江刺に行く途中に浮田を越えて行ったら、藩境塚の説明板があつたりして、思わぬところにいろんな説明板が建てています。何かの形で把握して、あっち(コミュニティ会議)の方が多分予算が活発なのかもしれませんが、もし、(文化財課で)建てられないような文化財の説明板があつたら、逆にコミュニティに投げかけて建ててもらった方が、早くというか数多くこなせるのかなと思って見ていました。その辺を把握しながら一緒に建てて整備していくのも、一つの手かなと思います。団体で建てているから相談があつたりなかったりすると思いますが、情報を共有して、統一感があるのとないのとバラバラで、またそれぞれの形式で建てられているので、合わせた方がいいかなと。

(平野課長) わかりました。

(阿部委員) 各コミュニティが主導でやっていて、そういう判断を自前でやっている訳ですけども、良いような悪いような、やはりそういうものは文化財課と共有するところがあつたりしないでしょうか。文化財指定対象として調査研究する案件の中には入っていないものも、コミュニティではやっている訳です。どういう整合性があれば良いでしょうか。良いことなのか身勝手なのか、どっちなのでしょうね。

(中村委員) 良いと思いますけどね。非常に良いと思いますよ。

(阿部委員) 個人ではなくてコミュニティの形ではありますが、きちんと調査研究して成果がある、恥ずかしくない看板ができる、そのあたりは検討を要するのではないかと思います。

(菊池会長) ただ、コミュニティでも関心のある所は建てていますが、建ててほしいな、あそこは大事だなと思つても、関心がなくて全然建てていないところもあります。

(佐藤教育長) さきほどの公開の関係の観点もすごく大事だと思います。今の看板とか説明板に限らず、コミュニティごとに発表会とか鑑賞会とかもやっています。そういった実態も、今おっしゃったように整理して見る必要があると

思います。

(竹原委員) 標柱とか説明板について、国際対応、英語表記とか今後求められるので、今後やる場合には少なくとも英語表記というのは必要であろうという話はほかでも聞いていました。そうするとコミュニティの方はそこまで入れるのは難しいかもしれないけれども、標準的なものというのは、やはりここから提案というか、なさないといけないのではないのかな、と思います。

説明文を（英語で）書くのは大変で、逆に間違っただけを書くとまずいので、少なくとも名称に関しては統一された、市として認めた名称はつけることは必要ですね。

(菊池会長) 何でもいいですので、そのほかございませんか？

(中嶋委員) 民俗芸能のことですが、先ほど、回答率、回答されなかった団体について、全てが今現在活動できている状況にない状況だったらいいですが、必ずしもそうではなくて、活動しているような団体だけでも、どういう形で活動できているかということ、電話でも聞き取りできればより綿密な調査になると思いますので、ひとつ提案です。細々と活動できている状況がわかるかもしれないし、あるいは案外稽古をやっていて返事だけが遅れてしまったということもあります。

たまに、いろんなメディアから連絡をいただきまして、こういう伝統芸能の取材をしたいが、どういうところに伺ったらいいたろうかという御相談を受けることがあります。そうすると、花巻市の方に、というふうにお答えするようにしていますが、結構目立つようなところばかりではなくて、マニアックな団体のお問合せもあります。

また来年度以降アンケートを継続されるのでしたら、継続できている、できていない、継続できているならば、どういう形で継続しているのか、定期的な公演ができているのか、地元で年1・2回程度の活動なのかという調査になればよいと感じます。

(菊池会長) よろしいでしょうか、担当者の方は。それから4ページですね、文化財保護活用事業、文化財セミナー、秋頃予定と。どういうことを予定していますか？

(大内係長) 秋の文化財セミナーにつきましては、台温泉の台川の方に耐火煉瓦の材質がとれる所があるということ、大迫には銭座があり、そして釜石の溶鉱炉の方に花巻の耐火煉瓦が使われていたというようなことがあり、この一連の流れをセミナーとして行ったらいいのではないかという案ですが、まだ具体的には詰めておりません。そのため、予定ということになっております。

(菊池会長) 文化財関係事業計画については、よろしいでしょうか。まだ何かございますか？それでは、平成30年度文化財関係事業計画については承認されたものといたします。

次に、(2)の市指定史跡の現状変更等許可申請に係る意見について。事

務局の方から説明をお願いします。

イ 市指定史跡の現状変更許可申請に係る意見について

〔酒井主任専門員及び佐藤係長から資料No.2を説明〕

(菊池会長) 説明が終わりましたので質疑、御意見、御質問を受けたいと思いますが、どなたかございませんか？

(木村副委員長) 本丸につきましては、花巻小学校で毎年小学校5年生を対象に教育委員会の職員に講師をお願いし、縄張りをして現地実習をしています。この縄張りは、ユネスコ協会の皆さんが自前で汗をかきながらビニールテープで区画しています。今回この調査で場所がはっきりとわかってきましたならば、計画書には小中学生に花巻の歴史を学ぶための資料として活用するとありますように、例えばお城のイメージをアイ・パッド等でもってそこに立つとこういう屏風があったと、こういう天井だとか、それを見ることによって子ども達が発掘したところを具体的にイメージできるようなものになれば良いなと思いますけれども、ただ、今年から調査を始めることですから、どこかの機会に調査の状況を見せられれば良いなと思います。

(佐藤係長) 花巻小学校と打合せをしていきたいと思います。

(木村副委員長) 今のメートル法と尺貫法とは違いますので、その辺のズレも分かれば面白いなと思います。

(佐藤教育長) 現地公開とか説明会は関心があるでしょうから、しなければいけませんね。

(酒井主任専門員) 毎年実施しております「とびだそう址どころ」につきましても、博物館が主体になっておりますが、協議しながら進めていきたいと思います。

(佐藤教育長) 議会でも質問が出ておまして、今流行りのARを活用してはどうかとのことでしたが、まずは調査してからと答弁しております。

(木村副委員長) 標柱がありますが、QRコードでそこにかざすと画面が出るとか、そのような工夫もこれからは大事だと思います。

(佐藤教育長) 調査が終わってからの活用場面ではそういう考えも検討されてくると思います。

(菊池会長) そのほかございませんか？

(大森委員) 東和町の丹内山神社の建物の奥の方に、人がまるで入らないような山が続きます、その中に花崗岩がゴロゴロと、幅があり、長さも上の方から下の方まで流れ下っているような形になっているところがあります。

たまたま遠野の方に行きまして山を歩いていましたら、同じようなところがあり、それは大変見事にして、そこでは天然記念物か何かにしたようです。

花巻の方で、一度この話をしたことがありましたが、記憶がございましたか？そういった面が欠落しているというのが花巻の弱点だと思います。いかに大切なものらしきものがあったとしても、誰も関心を示さないということで。

非常に大きな岩石で迫力がある状態になっております。是非調査して必要であれば、価値があるものと認められましたら、何か考えていただきたい。

なお、こうしている間に墓石屋さんが来てその石のうちの一つか何か、墓石に化けてしまった、ということもあります。いずれ、いくら価値があってもそのままでは価値が生まれてこない、逆にこれはいい、墓石にちょうどだなんて、そういった利用にされそうになるという姿も散見されます。よろしくをお願いします。

(菊池会長) 事務局の方では、よろしいでしょうか？

(中村委員) 東和町では同様のもので、「蝙蝠岩弘法大師霊場の花崗岩」として指定しています。規模は丹内山の方が大きい。そして奥が深い。こういうものはところどころにあります。大迫の合石にもありますし、花崗岩地帯に往々にしてあります。

(大森委員) 後で報告を聞きたいと思いますのでよろしくお願いします。

(照井委員) (現地を) 見には行きました。珍しい石ではないです。人首花崗岩帯といって普通の花崗岩です。神社は指定になっていますよね。そこから5メートルくらい離れた上の方の石ですよ。

(大森委員) そこからは木立があって見えないから知られていないと思います。ちょっと見てあると思っただけ行ったら、まだあり、さらに奥にもある。いずれ非常に面白いなと思いました。

(高橋委員) 資料1-2、文化財指定の対象として調査・研究を要する案件一覧となっておりますね。この調査研究とは誰がやるのですか？さっき我々もやって良いということがありました。もしやろうとすれば、文化財課に言えば、所有者に紹介するとか、そういうことをするということですか。具体的に皆さんはどうするということですか？

(酒井専門員) これは委員の皆様の調査研究の参考にさせていただきたいということで作りました。今日の会議の最後に説明しようと思っただけでしたが、一般文化財調査報告書で今年度こういうことをやってみたいということがありましたら、事務局の方へ言っていただければ、所有者への接触等調査のお手伝いをさせていただきます。我々が直接これを研究するという事はなかなか大変なことでありますので、調査についてよろしくお願いします。

(竹原委員) 城の方(現状変更)ですが、2～3ページの計画書(素案)というのは、許可申請書に付随して出されているもの、1枚目の申請書のその他参考となる事項とあるうちの付属書類なのでしょうか。

(佐藤係長) 申請書に添付している資料になりますが、この計画書は花巻城跡調査保存検討委員会において了とされたものです。

(竹原委員) 計画書の後ろに素案と書いてある段階でそれを書類として出すのはおかしいし、あと着手と終了実施予定期間が1か月ずれています。こういうのも書類の不備ということになるのではないのでしょうか。こういうのが間違っているのであれば、本来は許可の差し戻しですよ。まして素案とい

う格好であったら、やっぱり練られてないのではないですかということに成り得ると思うので、この審議会で、これに対して意見をと言われても、花巻市の委員会で出したものだから、意見を出しづらいとは思いますが。

ここは都市公園とかになっていますか。そうであれば協議して問題ないですよ、とかという説明はあまりなかったかと思いますが。

(佐藤係長) 公園緑地課とは協議しまして、支障はないという結論になっております。

(竹原委員) ということなので、ここでは許可申請書に対して意見を述べるくらいで、特にダメということを受けて教育委員会がどうするということではないですよ。要するに何をこの審議会で求めているのかというのがよくわからない。この書類の扱い方を、ほかの文化財の審議会ではここまで申請書を見て検討するのか、今後こういうふうになっていくものなのか、文化庁では多分こうやっていると思いますが、県とかを見ているとやってないのではないかなと思います。

(村田補佐) この(2)を議題にした趣旨は、花巻市教育委員会では指定文化財の現状変更については、教育委員会議に諮る案件になっています。自治体によっては、現状変更は教育長決裁等で事務処理ができるところもあるようですが、花巻市の場合は教育長に委任されていないということで、教育委員会議の案件として、その前段階として審議会に御提示をしまして、現状変更についての御意見を頂戴し、申請内容については問題がないという御意見をいただければ、今月の教育委員会議で決定をいただくというふうな格好での手続きになります。その意味での今日の議案ということでございますけれども、その部分の説明が足りなかったところでございます。

(竹原委員) わかりました。あまりこういうものは何件も出てくるものではないのかもしれませんが、ほかではなかなか見ないので参考にさせていただきます。

また、資料No.1-2(調査研究案件一覧)のことで、この案件は教育委員会の方で想定されたもの、委員から出されたものは付してないのでしょうか。先ほど出せばたくさん出てくるというような話もあったようですが。

(酒井主任専門員) 委員からの案件も入っております。

(竹原委員) やみくもにたくさん出されるとまずいと思うので、例えば分野ごとに順位つけて出してもらおうとか、最重要なものを一位につけるとかしないと多分羅列で終わってしまいますので、分野ごとに各専門の先生から、要するに緊急性が高いものをやってもらったほうが良いのかなと思います。

また、先生方以外にも、地区からの希望とか町内会への問合せをしてもらってもいいのではないかな、それで委員との総意の中で順位付けをやって、もう少しシステムチックにやるといいのではないかと。

あと、目標として毎年1件ないし2件は指定するとか文化財保護審議会としての目標があると、それに予算をつけるとかということがあれば良いかなと思しまして。資料No.1-1のところでは事業計画にお金の話を書いてあれば一実際お金が書いてある市町村では、例えばこの値段では報告書を作れ

ないとかとう意見を聞いたりしますが一、やはりこの事業計画の中で、ある程度そういう目標みたいなものを設けて予算措置をするような方向にあれば、資料No.1-2の資料が生きてくるのかなという気がします。そういう風に委員も動けるような体制にさせていただけるとよろしいかと思えます。

(菊池会長) 何でもいいので、ございませんか？

よろしいですか。それでは(2)の市指定史跡の現状変更等許可申請に係る件について、これは承認されたものといたします。

それでは議事につきましては終了いたします。

(5) その他

(酒井主任専門員) 先ほど申し上げた11月の原稿提出、およその目途でございますが、一般文化財調査報告、今年度は29年度に指定いたしました「猫塚家文書」高橋委員、そして「花巻まつり」深澤委員、毎年お願いしております建造物調査の3件となっておりますけれども、そのほかにございましたら、酒井の方までお願いしたいと思えます。

(6) 閉 会 (進行：平野課長)